

2016年11月21日

経済レポート

2016年10月の貿易統計の結果

～ 実質輸出には持ち直しの動きが見られる～

調査部 研究員 土志田るり子

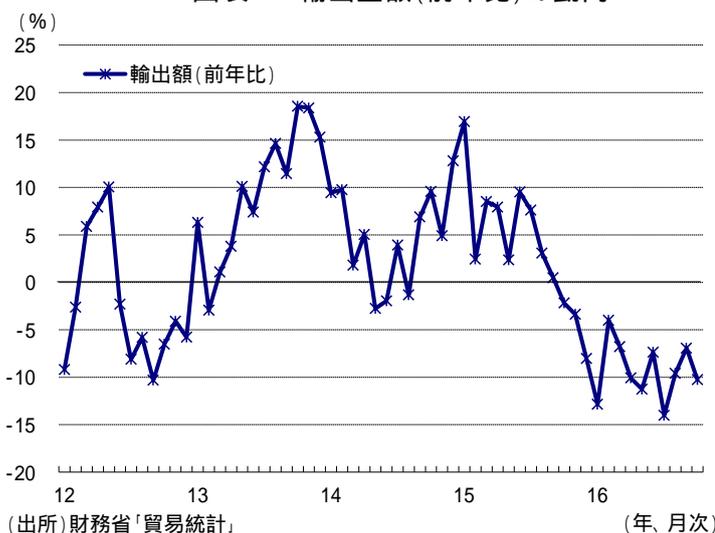
輸出の動向

10月の輸出金額は、5兆8699億円(前年比-10.3%)と13ヵ月連続の減少となった(図表1)。為替の円高(前年比14.7%の円高)の進展で輸出価格指数は前年比-9.0%と低下が続いており、円建ての輸出金額が目減りしている。なお、10月は輸出数量指数も前年比-1.4%と低下した。

品目別の動きをみると、自動車(前年比-11.3%)、鉄鋼(同-19.3%)、半導体等電子部品(同-7.1%)と、主要な輸出品が減少した。地域別では、アジア向け(前年比-9.9%)、米国向け(同-11.2%)、EU向け(同-9.5%)と、軒並み大幅な減少となった。

為替の変動等の影響を除いた実質輸出(季節調整値)は、10月は前月比+0.1%と小幅ながら増加した(図表2)。前半に工場爆発事故や地震の影響で生産が停滞した後、夏以降は挽回生産によって実質輸出に持ち直しの動きが見られているが、その押し上げ効果は剥落しつつあるようだ。

図表1 輸出金額(前年比)の動向



図表2 実質輸出の動向



輸入の動向

10月の輸入金額は、5兆3737億円(前年比-16.5%)と22ヵ月連続の減少となった(図表3)。輸入価格指数は前年比-14.4%と急激に低下している一方、数量指数は同-2.5%と小幅な低下にとどまっており、為替円高やエネルギー価格の下落が引き続き輸入金額を縮小させている。もっとも、原油価格は足もとで下落に歯止めがかかっており、今後、資源価格がさらに持ち直してくれば、輸入額の落ち込みは縮小してくると考えられる。

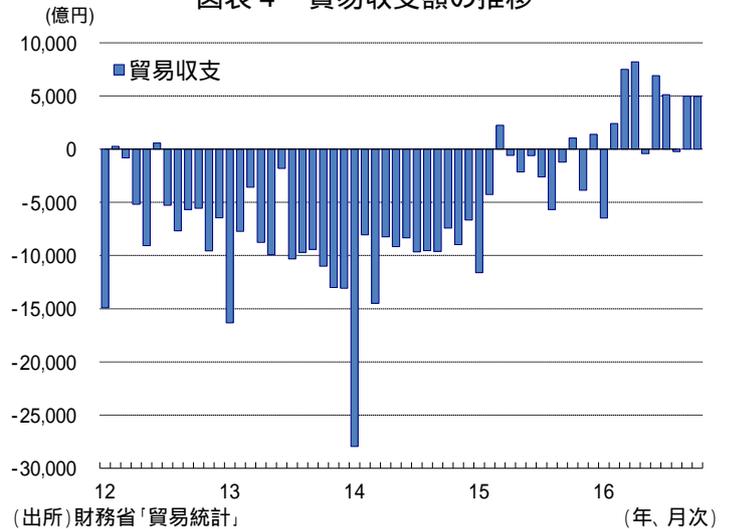
貿易収支の動向

輸出額と輸入額の差である貿易収支は、10月は4962億円と2ヵ月連続の黒字となった(図表4)。季節調整値は4743億円の黒字で、前月から黒字幅は拡大した。

図表3 輸入金額(前年比)の動向



図表4 貿易収支額の推移



ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。